

本試験で得点UP！

模試の上手な受け方セミナー(警察官・消防官)

担当 TAC警察官・消防官講座 担任 宮脇

目的は「模試で良い点を取る」ことではなく、「本試験で合格点を取る」ことです。
本試験で得点をUPさせるためには、模試で間違えた問題を復習し、同じ間違いを犯さないこと。「模試のための模試」にならないように注意してください。

学習状況で変わる模試の意味

■教養択一試験

模試実施日までに教養択一試験に必要な科目のほとんどを終えた人・再受験の人

◆チェック内容

数的処理・文章理解の苦手部分の把握

知識系科目(特に社会科学・人文科学・自然科学の暗記系)の頻出問題の定着度

※東京消防庁が第一志望の場合

上記に加えて、自然科学の頻出問題の苦手部分をチェック

※再受験の人

昨年できなかった問題を解けているかチェック

模試実施日までに教養択一試験に必要な科目が一通り終わっていない人

◆自分が終わらせた科目ができているかどうかをチェック

まだ、手をつけていない科目はできなくて当然、と考える

正答率の高い問題を正解しているか

× 模試のために急仕上げてその科目だけを学習する

■論作文試験

時間内に自分の意見をまとめて、適切な字数・内容で書けるかをチェック

講義を受けた受けないに限らず、まずは書いてみる事が大切。

添削をされないと自分の論作文のレベルは分かりません。

ここがポイント！模試の復習方法

模試は受験後も復習にとっても役立つ教材です。効果的に利用して、直前期の実力UPを図りましょう。

■時期による復習方法

模試終了直後・・・自己採点后、本来であれば解けるはずの問題を洗い出して復習
成績表受け取り後・・・間違えた問題のうち、正答率の高いものにつき、自分は解けない問題なのかを検証

理想は模試復習後に時間を図って解いた場合、満点を取れること

■重要なのは肢別成績

なぜ肢別成績が重要かというと、自分の弱点と本試験までにどこを重点的に復習すれば良いかが一目瞭然だからです。

注目すべきは正答率

【正答率60%以上の問題】

多くの受験生が得点源とする基本問題。間違えた場合は本試験までに必ず解けるようにしておきましょう。

【正答率40%～60%の問題】

この問題を解けるかどうか、合否の分かれ目。こちらも間違えた場合は苦手分野でも、できるだけ解けるようにしておきましょう。どうしても苦手な問題の場合はそれに代わる得点源が必要となります。

【正答率40%未満の問題】

難問なので本試験では、すぐに解けそうでなければ、後回しにするべき問題。ただし、全てを捨てて良いわけではないので、自分の得意分野では間違えないようにしっかり復習をしておきましょう。

■総合成績や判定を気にしすぎない

総合成績や判定はあくまで今の自分の力です。模試の復習方法を間違えなければ、得点力は本試験までにUPします。特に秋以降に学習を開始して、INPUTが終了していない受験生は解けなくて当たり前です。本試験までの日にちを考えて、効果的に模試を復習して実力をつけましょう。